

第 3 回全分科会の意見に対する修正案等

● 重点戦略 2: 魅力ある働く場の創出

意見	修正案等
<p>KPI の一つに「市内総生産」を用語解説に加えるに当たり、「資料 6」に記載の説明文ではなく、口頭で説明のあった「1 年間に市内の経済活動によって新たに生み出された付加価値の総額」の方が分かりやすい。</p> <p style="text-align: right;">【第 1 分科会】</p>	<p>ご意見を踏まえ、用語解説に次のとおり追記します。</p> <p>【市内総生産】</p> <p>市内における 1 年間の経済活動によって、新たに生み出された付加価値の総額のこと。全ての産業や個人の生産にかかる状況を総合的に確認することができ、経済規模などを把握することに適している。</p>
<p>KPI の一つに「市内総生産」を採用するに当たり、唐突な印象を持ってしまうため、基本構想（案）の「刈谷市の現状と特性把握」の「(2)刈谷市の特性」の各種統計データにこれの推移を掲載するとつながりが分かる。</p> <p style="text-align: right;">【第 2 分科会】</p>	<p>ご意見を踏まえ、平成 23 年（2011 年）から直近の令和元年（2019 年）までのデータを基本構想の 12 ページに掲載します。</p>

● 基本方針別計画（全体）

意見	修正案等
<p>施策の背景でそれぞれ現状と課題の内容が重複していて、課</p>	<p>ご意見を踏まえ、全ての基本方針別計画を見直しました結</p>

意見	修正案等
<p>題から刈谷市の状況が分かりにくい。刈谷市がその分野において、できているのかどうか、どういう課題があるのかを書いてほしい。また、課題に手法・手段が入っているように感じます。例えば、「1-3 公園緑地・緑化」にある、「民間のノウハウを活用し」というのは手段ではないか。</p> <p style="text-align: center;">【第2回第1分科会】</p>	<p>果、次のとおり修正します。</p> <p>【1-1 市街地・住環境】</p> <p>4つ目の課題「空家等の発生抑制や適切な管理、利活用の促進などの取組が求められます。」を「<u>良好な生活環境の保全が求められます。</u>」に修正します。</p> <p>【1-2 道路・交通】</p> <p>2つ目の現状を2つ目の現状を「<u>将来的な人口構造の変化への対応や子育て世代の定住促進、にぎわいの創出、都市機能の集約など、まちづくりと連携した交通施策を進めています。</u>」に、課題を「<u>市民が多様な移動手段を選択できるように、鉄道やバスなどの公共交通の利便性や安全性の向上、快適に移動できる道路空間の整備が求められます。</u>」に修正します。</p> <p>3つ目の現状として、「<u>健康意識や環境意識の高まりから、誰もが徒歩や自転車で安全に移動できる空間の重要性が高まっています。</u>」を追加し、それに対する課題を「<u>歩行者の多い刈谷駅周辺の更なるバリアフリー化や自転車ネットワークの整備を推進する必要があります。</u>」とします。</p> <p>4つ目の現状を「<u>通過交通や市の中心部に向けて発生・集中</u></p>

意見	修正案等
	<p>する交通により、慢性的な交通渋滞が発生しています。」に、課題を「<u>交通渋滞が市民生活、産業活動・地域活性化など様々な方面に影響するため、渋滞の緩和を計る必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>6つ目の現状を「<u>高齢者の外出機会の創出や市民のライフスタイルに応じた誰もが安心安全に移動できる手段として、公共交通への期待が高まっています。</u>」に、課題を「<u>鉄道、バス、タクシーなど、市内全域の公共交通機能の充実、近隣自治体と連携した公共交通体系の構築が求められます。</u>」に修正します。</p> <p>【1-3 公園緑地・緑化】</p> <p>1つ目の現状を「<u>身近に親しめる公園緑地の整備の重要性が高まっています。</u>」に、課題を「<u>本市の魅力向上や子育て・福祉環境の充実など、様々な市の課題に対応した公園整備を進めていく必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>2つ目の現状を「<u>東日本大震災を始め災害が多く発生しており、防災意識が高まっています。</u>」に、課題を「<u>公園緑地などが有する防災機能の重要性を見直し、災害時における様々な復旧支援活動にいかすことが求められています。</u>」に修正します。</p>

意見	修正案等
	<p>3つ目の現状を「<u>新たな生活様式の定着などの社会情勢の変化によりニーズは多様化し、公園の担う役割は変わってきています。</u>」に、課題を「<u>余暇の充実や健康増進など、多世代の多様なニーズに対応するため、公園機能の充実を図っていく必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>4つ目の現状を「<u>公園施設の老朽化が進んでいます。</u>」に、課題を「<u>公園施設の維持管理費にかかる経費削減や合理化が求められています。</u>」に修正します。</p> <p>5つ目の現状を「<u>開発などにより、身近な緑が宅地などに変わってきています。</u>」に、課題を「<u>新たな緑の創出が求められています。</u>」に修正します。</p> <p>このほか、2つ目の課題に記載していた内容が課題ではなく、施策の要素を含めていたため、「123 公園の管理・運営」に新たに④「<u>施設の適正な管理と防災・減災にも役立つオープンスペースとしての多面的な活用を推進します。</u>」を追記します。</p> <p>【1-5 上下水道】</p> <p>1つ目の現状を「<u>水道水の安定供給と公共下水道の整備に対する市民生活における重要度は高くなっています。</u>」に修正し</p>

意見	修正案等
	<p>ます。</p> <p>【2-1 学校教育】</p> <p>1つ目の現状を「これからの社会は、予測不能な激しい変化がこれまで以上に増える<u>可能性があります。</u>」に修正します。</p> <p>4つ目の課題を「<u>施設の安全性を確保するとともに、増加する維持管理費に対する経費の削減及び平準化が求められています。</u>」に修正します。</p> <p>【2-3 スポーツ】</p> <p>3つ目の現状を「<u>各種体育施設や生涯学習施設など多くのスポーツ施設が利用されている一方で、成人のスポーツ実施率が伸び悩んでいます。</u>」に修正します。</p> <p>【3-3 農業】</p> <p>5つ目の現状を「元気な高齢者が増加するとともに、余暇の増大や価値観の多様化が<u>進んでいます。</u>」に、課題を「<u>生きがいを感じることができる多様な活動の場のひとつとして、誰もが農業に親しむライフスタイルを支援することが、求められています。</u>」に修正します。</p> <p>【4-2 健康づくり】</p>

意見	修正案等
	<p>3つ目の現状を「<u>予防接種法に基づいて定期予防接種を実施しています。</u>」に、課題を「<u>予防接種に関する正しい知識を周知し、できるだけ多くの人に適切な時期に予防接種を受けてもらうよう勧奨する必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>【4-5 障害児・者福祉】</p> <p>4つ目の現状を「<u>障害のある人の就労ニーズが多様化しています。</u>」に修正します。</p> <p>【4-6 防災】</p> <p>1つ目の現状を「東日本大震災や熊本地震などの<u>震災、～</u>」に、課題を「<u>災害発生時に高まった防災意識の風化を防ぎ、その高まりを継続することが求められます。</u>」に修正します。</p> <p>3つ目の現状を「東日本大震災や熊本地震などで、行政の機能停止や避難所の運営において<u>支障をきたしています。</u>」に、課題を「<u>過去の災害を教訓とした防災体制の充実が求められます。</u>」に修正します。</p> <p>4つ目の現状を「過去の大規模災害では、<u>道路や橋りょうなどのインフラ</u>に大きな被害が発生し、その後の<u>まちの復旧作業</u>にも支障をきたしています。」に、課題を「災害に強い道路や</p>

意見	修正案等
	<p>橋りょうなどのハード整備が求められます。」に修正します。</p> <p>【4-7 生活安全】</p> <p>1つ目の現状を「<u>犯罪発生件数は減少傾向ですが、侵入盗や自動車等、特殊詐欺など、犯罪がより巧妙化しています。</u>」に、課題を「<u>犯罪抑止につながる環境を整備するほか、市民の防犯意識を高める必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>2つ目の現状を「<u>交通事故死傷者数は減少傾向ですが、人口1,000人あたりの人身事故件数は、愛知県の平均値よりも高くなっています。</u>」に、課題を「<u>道路の交通安全環境を整備するほか、市民の交通安全意識を高める必要があります。</u>」に修正します。</p> <p>3つ目の課題を「<u>高齢者が交通事故の被害者にも加害者にもならないための取組が求められています。</u>」に修正します。</p> <p>このほか、3つ目の課題を踏まえて、「472交通安全対策の推進」③を「<u>高齢者を対象とした交通安全教室において、加齢に伴う身体機能の変化が、歩行者又は運転者としての交通行動に及ぼす影響を認識する機会を設けます。また、運転に不安のある高齢者に対する支援に努めます。</u>」に修正します。</p>

意見	修正案等
	<p>4つ目の現状を「～、<u>市民相談の内容が複雑・多様化</u>しています。」に修正します。</p> <p>5つ目の現状を「～、様々な消費者トラブルや悪質商法、詐欺被害などが<u>増加</u>しています。」に修正します。</p> <p>【4-8 共存・協働】</p> <p>1つ目の課題を「男女共同参画の理念を全ての人が理解し、市民、事業者、教育関係者など様々な主体や行政が協働して取り組んでいくことが求められます。」に修正します。</p> <p>2つ目の課題を「<u>外国人と地域住民が互いの文化的違いを認め合い、円滑な相互理解を図ることが望まれます。日本語を理解できない外国籍の子どもたちが学校生活になじむことができるような支援体制が求められます。</u>」に修正します。</p> <p>3つ目の現状を「<u>地域組織に求められる役割が多様化する一方、自治会の加入率の低下や定年年齢の引上げ</u>などにより役員の担い手の確保が難しくなっています。」に修正します。</p> <p>4つ目の現状を「<u>まちづくりを担う各主体間における連携や協働を進めるための人材の活用が十分ではありません。</u>」に修正します。</p>

● 2-1 学校教育

意見	修正案等
<p>通学路における安全対策に関する取組を追記した方が良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「215 安心安全で地域に開かれた学校づくり」②の説明文を「不審者の侵入対策、<u>通学路における交通安全対策、防犯対策</u>を推進します。」に修正します。</p>

● 2-2 生涯学習・青少年教育

意見	修正案等
<p>用語解説に「生涯学習」の定義を追加すると共に、「リカレント教育」を追加し、これらの違いを説明した方が良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、用語解説に次のとおり追記します。</p> <p>【生涯学習】</p> <p>人々が生涯にわたって、主体的に継続して行う学習のこと。主なものとして、文化活動、スポーツ、レクリエーション活動、ボランティア、企業内教育、趣味などがあり、仕事に無関係なことや「生きがい」に通じる内容も対象に含まれる。</p> <p>【リカレント教育】</p> <p>学校教育から一旦離れて社会人となった後に、個人が必要とするタイミングで受ける教育のこと。「社会人の学び直し」とも呼ばれ、広義には生涯学習の一環であると言えるが、主に仕事にいかすために学ぶという点に特徴がある。</p>

● 4-3 地域福祉

意見	修正案等
<p>KPI のうち、「地域福祉に関するボランティア活動に参加している市民の割合」の「地域福祉に関するボランティア」が分かりにくいと感じる。実際の市民意識調査のように例示を交えると良い。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「<u>高齢者や障害者への支援など地域福祉に関するボランティア活動に参加している市民の割合</u>」に修正します。</p>
<p>「434 生活困窮者への支援」①には、就労支援のほかにも、家計改善支援や就労訓練支援、就労意欲喚起支援などがあるので、就労支援を代表的な例示として挙げると、これに特化したように受け止めてしまうため、「包括的支援」に変更した方が良い。</p> <p>なお、「包括的支援」には、②の後段（保護者に対する生活支援）が含まれることになる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、①の説明文を「生活困窮者に対して、個々の状況に応じた就労支援などにより、<u>包括的な支援を進めます。</u>」に、②の説明文を「子どもへの学習支援を通じて学習習慣の定着や基礎学力の向上を図ります。」に修正します。</p>

● マネジメント方針

意見	修正案等
<p>関連する SDGs のゴールとして 12（つくる責任つかう責任）、16（平和と公正をすべての人に）、17（パートナーシップで目標を達成しよう）のマークが記載されているが、全体に共通す</p>	<p>ご意見を踏まえ、改めて基本方針別計画に関連するゴールを確認し、次のとおり修正します。</p> <p>【1-4 治水・水辺環境】</p>

意見	修正案等
<p>るマネジメント方針に関わるゴールが 3 つだけということに違和感を持つ。</p>	<p>河川は海とつながっており、あらゆる海洋汚染を防止するため、<u>14（海の豊かさを守ろう）</u>を追記します。</p> <p>【1-5 上下水道】</p> <p>水道水を供給しているため、<u>12（つくる責任つかう責任）</u>を追記し、その変わり、持続可能なインフラを整備する意図で記載している <u>9（産業と技術革新の基盤をつくろう）</u>を削除します。</p> <p>【2-1 学校教育】</p> <p>ジェンダー平等を意識した教育を提供するため、<u>5（ジェンダー平等を実現しよう）</u>を追記します。</p> <p>【4-3 地域福祉、4-5 障害児・者福祉】</p> <p>「4-4 高齢者福祉」と同様に、<u>3（すべての人に健康と福祉を）</u>と <u>11（住み続けられるまちづくりを）</u>を追記します。</p> <p>【4-6 防災】</p> <p>災害時においても安全な水と適切な衛生環境を確保するため、<u>6（安全な水とトイレを世界中に）</u>を追記します。</p> <p>【マネジメント方針】</p> <p>本市が「住み続けたい」と思ってもらえるようなまちづくり</p>

意見	修正案等
	を進めるため、 <u>11（住み続けられるまちづくりを）</u> を追記します。
<p>「(4)戦略的な情報の発信・収集」の①の主な取組で「住みたい、住み続けたい、訪れてみたい」と記載しているが、刈谷市には通勤や通学で訪れる人も多数いるので、そういった人も含まれる表現になると良い。</p>	<p>①の取組は定住の促進と市民の郷土に対する愛着の醸成を図ることを目的としたものになりますので、通勤等で訪れる方を含めることは主旨から逸れてしまいます。</p> <p>「働きたい」、「働き続けたい」という視点は、重点戦略2（魅力ある働く場の創出）における取組の推進を図る中で踏まえることとしています。</p>
<p>「(3)多様な主体との連携」の主な取組のうち、①の中で「公共私」とは何を指すのか。また、「地域コミュニティ」が何を指すのか分からない。②と③が比較的具体的な内容を記載しているので、そことのレベルを合わせた方が良い。</p>	<p>「公共私」とは、行政の「公」、NPOなどの「共」、事業者などの「私」を指します。また、ご意見を踏まえ、①の説明文を「<u>公共私</u>が連携・協働するためのネットワークを形成し、自治会を始め、地域を支える組織を支援することで、持続可能な地域社会の実現をめざします。」に修正します。この意図としましては、都市部では、自治会の加入率も低下しており、地域社会における住民自治の持続可能性が危ぶまれている中で、住民自治を補完するものとして、「共」と「私」が連携することは重要であると認識しており、①では、そのための体制を構築することが求められていることを、②では、そのネットワークを</p>

意見	修正案等
	活用して地域課題を解決し、地域の価値を高めることを意図しています。
<p>「(3)多様な主体との連携」の主な取組のうち、②の中で地域課題の解決をめざすためには、「大学」に限定しなくても「高校」もあり得ると考える。</p>	<p>ご意見や前述の意図を踏まえ、②の説明文を「<u>市、地域コミュニティ組織、NPO、事業者、学生などの多様な主体が相互にネットワークを活用し、課題の解決を目指すとともに、地域の特徴や強みをいかして地域の価値を高めます。</u>」に修正します。</p>
<p>「(3)多様な主体との連携」の主な取組のうち、③の中で「経営資源の合理化」と記載されているが、これは、住民サービスの維持向上という目的を達成するための手段であり、並列に記載されるものではないと考える。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「<u>衣浦定住自立圏域を始めとした各自治体と連携し、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」といった経営資源の合理化を図ることで、住民サービスの維持向上をめざします。</u>」に修正します。</p>